

## 平成25年度 第1回函館市行財政改革推進統括会議

日時 平成25年10月4日（金）10：30～11：00  
会場 市長会議室  
参集者 工藤市長，中林副市長，片岡副市長，秋田企業局長，吉川病院局長，  
谷口企画部長，川越総務部長，山田財務部長

---

議題 ◎給与制度の見直しについて<対応：佐藤人事課長>  
◎平成26年度予算編成について<対応：小林財政課長>

---

### ◆議題の趣旨◆

給与制度の見直しおよび平成26年度予算編成におけるシーリング率の取扱い等について，協議を行いました。

---

### ◆協議の結果◆

給与制度の見直しおよび平成26年度予算編成におけるシーリング率の取扱い等については，概ね了承されました。

---

### ◆主な発言◆

（工藤市長）

住居手当の見直しについては，段階的な引き下げを行ってきているが，廃止に向けての期限を定めるべきである。

（総務部次長）

これまで，道内主要8市の平均支給額を参考に引き下げを行ってきた。組合との継続交渉の中で協議していきたい。

（工藤市長）

給与の独自減額についても，組合としっかり協議すること。

（中林副市長）

現状はまだ基金の取り崩しに頼っている状況であり，収支が好転しているとはいえない。

（総務部次長）

組合にはこれからも財政状況等を説明しながら，交渉にあたっていきたい。

(中林副市長)

平成26年度予算編成におけるシーリング率の設定に関して、維持補修費を95%と設定するのは、相当厳しいのではないかと。

(財政課長)

「行財政改革プラン2012」における経常経費の見直し予定額は、約4億5千万円であるが、95%の設定でもその効果額を確保するのは厳しい見通しである。また、その上で、想定外の要素として、値上げとなった電気料金や増税となった消費税の影響もある。

(工藤市長)

想定外要素は別に考える必要がある。シーリング率は修正しなくともよいが、予算編成の全体を見ながら、必要な配分調整等を行わなければならない。

(財政課長)

了解した。

---